

みらい

楽しい施設づくりをめざして

多機能型事業所みらい 管理者 桝川 悦子

平成28年4月より、管理者を拝命いたしまして早や2か月が過ぎました。

無認可作業所時代から、利用者の皆さんとは長いお付き合いをさせていただいております。いつの間にかお互いに年を重ねましたが、未だに毎日支援に奮闘しています。

さて、みらいでは、初夏を思わせる陽気に、外出の機会が増えてまいりました。

春の味覚狩りから始まり、5月の末からグループ外出が毎週金曜日に4回続きます。利用者さん自身が行きたい場所を決められ、今年はひらかたパーク、木下サーカス、京都鉄道博物館、神戸動物王国など「次は私、次は僕」と、とても楽しみにされています。私たち職員は利用者さんが当たり前のように、楽しんで社会参加ができるように、日頃から押し付けではなく、利用者さんの自己決定を尊重した支援に取り組んでいます。

この4月から障害者差別禁止法が施行されましたが、実際に現場の職員の意識はどうか？「個人の尊重」「人権の擁護」「社会への参加」を基本理念として掲げ、「日々の支援をたいせつに」をモットーに良質なサービスの提供ができていますのか？

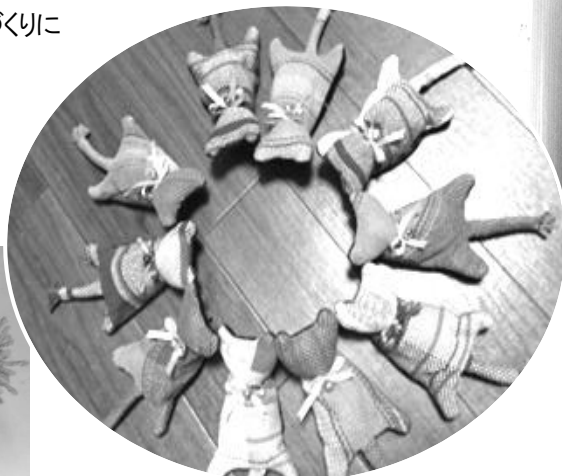
前年度に実施しました「支援懇話会」で、職員が支援をすることに慣れてしまっているのではないかと指摘を受けたり、また、「虐待防止の仕組みづくりの構築」の検討委員会でも、業務に慣れてしまうと虐待につながる可能性があるとの意見も挙がったり。日々の支援の中に予想もしていない虐待が潜んでいることを痛感いたしました。

支援の現場から、管理者という立場になりまして、ご家族様はもとより私自身不安と緊張でいっぱいですが、利用者の皆さんが安心して通える施設であり続けるように頑張っていきますので、今後ともよろしく願い申し上げます。

<みらいの自主製品>

織り製品、紙漉き製品、はし豆、風船人形(ぷーちゃん)など、現在も次々とあたらしい商品が生まれています。これからも、皆様に愛される商品づくりに頑張っています。

風船人形(ぷーちゃん)



織りのネコクリップ



紙漉きのはり絵